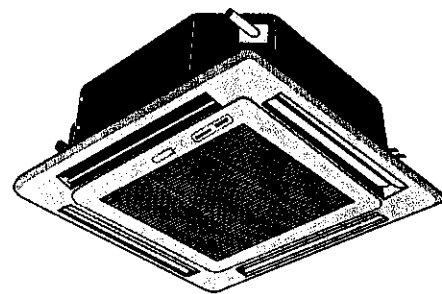


MITSUBISHI

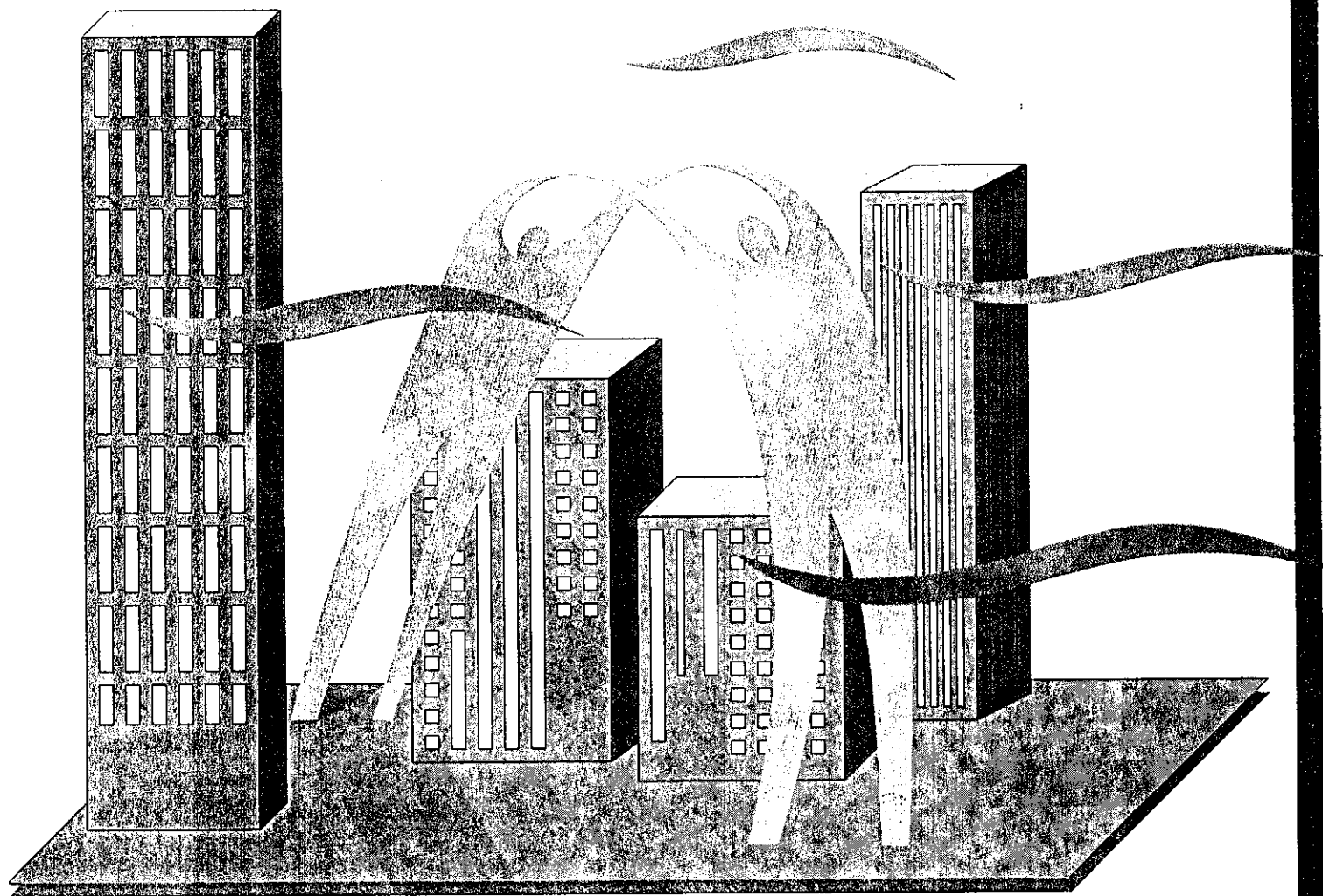
三菱電機パッケージエアコン

Mr. SLIM

PLA-J・JA シリーズ コンパクト4方向天井カセット形



取扱説明書



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡してください。
- お客様ご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

組合せ いろいろ

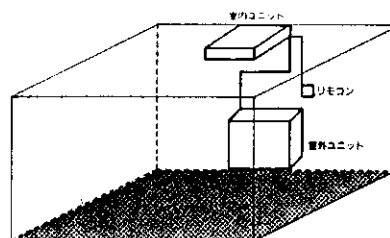
運転モード (2タイプ)

冷暖兼用タイプの場合：送風・ドライ・冷房・暖房・自動
冷房専用タイプの場合：送風・ドライ・冷房

となります。

標準システム

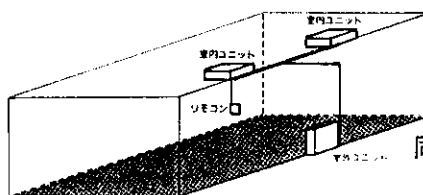
- 1 台の室外ユニット
 - 1 台の室内ユニット
 - 1 個のリモコン
- で構成された標準的なシステム



標準システム

同時ツインシステム

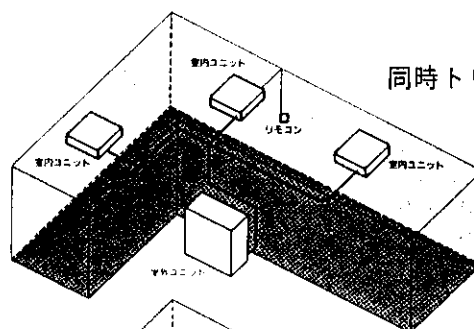
- 1 台の室外ユニット
 - 2 台の室内ユニット
 - 1 個のリモコン
- で構成され
- 1 室を室内ユニット 2 台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。



同時ツインシステム

同時トリプルシステム

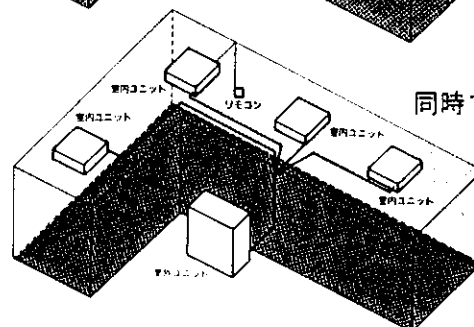
- 1 台の室外ユニット
 - 3 台の室内ユニット
 - 1 個のリモコン
- で構成され
- 1 室を室内ユニット 3 台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。



同時トリプルシステム

同時フォーシステム

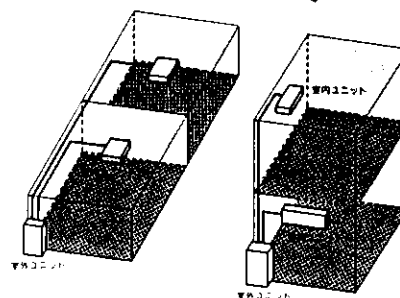
- 1 台の室外ユニット
 - 4 台の室内ユニット
 - 1 個のリモコン
- で構成され
- 1 室を室内ユニット 4 台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。



同時フォーシステム

個別ツインシステム

- 1 台の室外ユニット
 - 2 台の室内ユニット
 - 2 個のリモコン
- で構成され
- 1 台の室外ユニットで 2 台の室内ユニットが個別に運転するシステム
2 台の室内ユニットを別々の運転モードとすることができます。



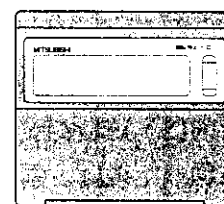
個別ツインシステム

リモコン

- ワイヤードタイプ、ワイヤレスタイプがあります。
- 1 システムに 2 個のリモコン（ワイヤード、ワイヤレス併用可）までは接続可能です。



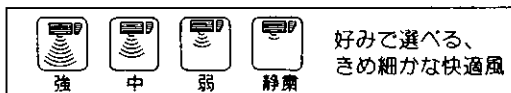
ワイヤレスタイプ



ワイヤードタイプ

1 快適性

- 選べる快適さ
風速4ノッチ



好みで選べる、
きめ細かな快適風

- 快適な風を吹き分ける
オートベーン

2 静音性

室内ユニットの風速調整に
静粛ノッチ付き

3 お手入れ性

- ロングライフフィルターで、約2,500時間のフィルター清掃不要
- フィルタークリーニングサインで、清掃時期のお知らせ
- オートベーンの汚れもサッと一拭きの植毛レスベーンを採用

4 インテリア性

- 室内ユニット
インテリアにフィットしたソフトなデザイン

も く じ

お使いになる前に

組合せいろいろ	1
安全のために必ず守ること	3～5
各部のなまえ	6
ワイヤードリモコン	7
ワイヤレスリモコン	8

運転のしかた

運転／停止、運転モード切替、室温調節	9・10
風速調節、風向調節	11・12
タイマー運転	ワイヤードリモコンの場合 13・14
	ワイヤレスリモコンの場合 15・16
自動運転、換気連動運転	17・18

お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた	19・20
長期間ご使用にならないとき	21
別売部品について	22
もう一度確かめください	23・24
保証とアフターサービス	25
移設・工事・点検について	25
仕様表	26

●この取扱説明書の上手な使い方





と4つの情報が運転のしかたの順で掲載されています。
通常の操作は運転のしかたをご覧ください、より上手な
使い方や、より詳しく知りたい時に、この4つの情報をご
利用ください。

安全のために必ず守ること





安全のために
必ず守ることに

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

●表示と意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は次のとおりです。

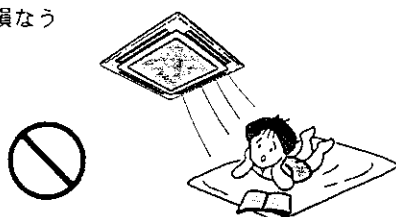
	絶対に行なわないでください。
	必ず指示に従い行なってください。
	必ずアース工事を行なってください。
	回転物に注意してください。 (この図記号は本体に表示があります)

●ご使用時

△警告

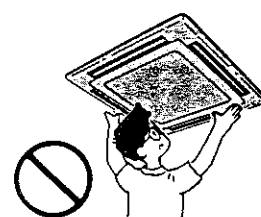
長時間直接お肌に風をあてない

- 体調悪化や健康を損なう原因になります。



お客さま自身で分解・修理・改造はしない

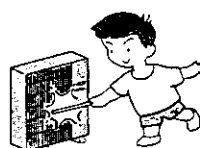
- 不備があるとユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

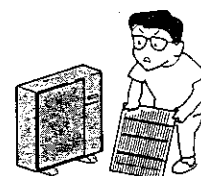
- 特にお子さまにご注意を！

- 内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



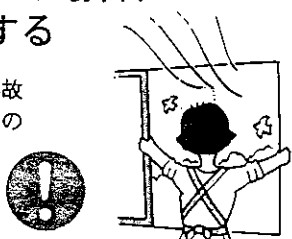
パネルやガードを外さない

- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



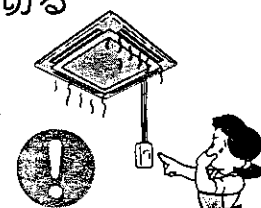
冷媒ガスが洩れている場合、運転を停止し換気する

- そのままにしておくと酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



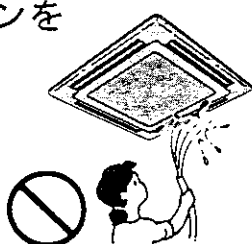
異常時(こげ臭いなど)は運転を停止して、電源ボタンを切る

- 異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



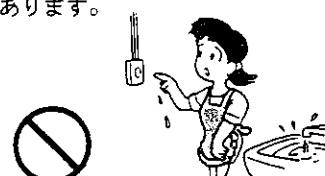
エアコン及びリモコンを水洗いしない

- ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります。



濡れた手で電源ボタンを操作しない

- 感電の原因になることがあります。



△注意

燃焼器具と一緒に使うときは、
こまめに換気する



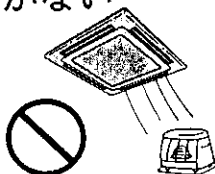
- 換気が不十分の場合は、酸欠事故の原因になることがあります。

直接風が当たる所に動植物を
置かない



- 動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

直接風のアたる所に燃焼器具を
置かない



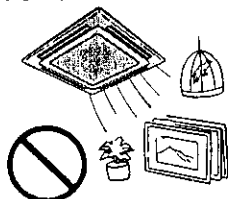
- 不完全燃焼の原因になることがあります。
- エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

室外ユニットの上に乗ったり、
物を載せたりしない



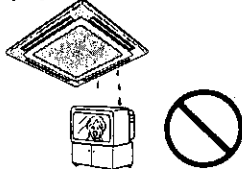
- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

特殊用途に使用しない



- 精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。
- 品質低下の原因になることがあります。

室内・室外ユニットの下に濡れて
困るものを置かない



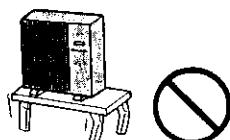
- 湿度の高いときや、ホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを
吹付けない



- 火災・変形の原因になることがあります。

据付台などがいたんだ状態で
放置しない



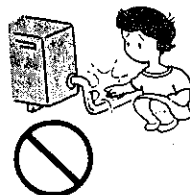
- ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になることがあります。

フィルターの着脱のときは不安定な
台に乗らない



- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

運転中に冷媒配管に触らない



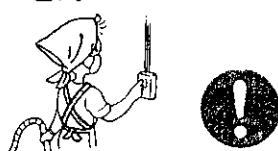
- 運転中の冷媒配管は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。
- 素手で触れると凍傷ややけどになるおそれがあります。

フィルターの着脱には、保護具
(メガネなど) を着用する



- 目にゴミが入り、ケガの原因になることがあります。

清掃のときは運転を止め、
電源ボタンを切る



- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

リモコン付近の温度が40℃以上、
0℃以下になる場所、または直射
日光が当たる場所
には据付けない。



リモコンを先がとがった物で
押さない。



- 感電、故障の原因となる場合があります。

安全のために必ず守ること

安全のために
必ず守ることに

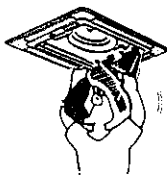
● 据付け時

(この頁の詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

⚠ 警告

お客様ご自身で据付け・移動・再据付けしない

- 工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になることがあります。お買上げの販売店にご相談ください。



小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行なう

- 万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策が必要です。冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



使用される別売部品は当社指定品であること

- ドレンアップメカ・各種フィルターなどの別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客様ご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、且つしっかりと固定されていること

- ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



電源は専用回路とし、且つ定格の電圧、遮断器を使用する

- 異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



設置場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける

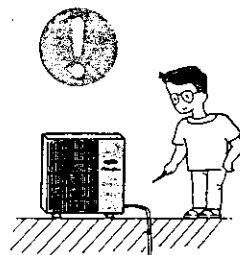
- 取付けていないと、感電の原因になることがあります。



⚠ 注意

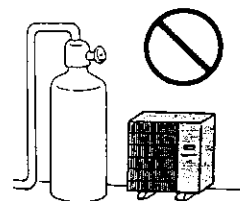
アース工事を行なう

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



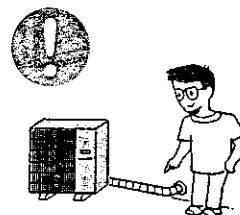
可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

- ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。



ドレン配管は確実に行なう

- 配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。



■ 冷媒（フロンガス）についてのご注意

- このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

(冷媒が洩れたときの処置)

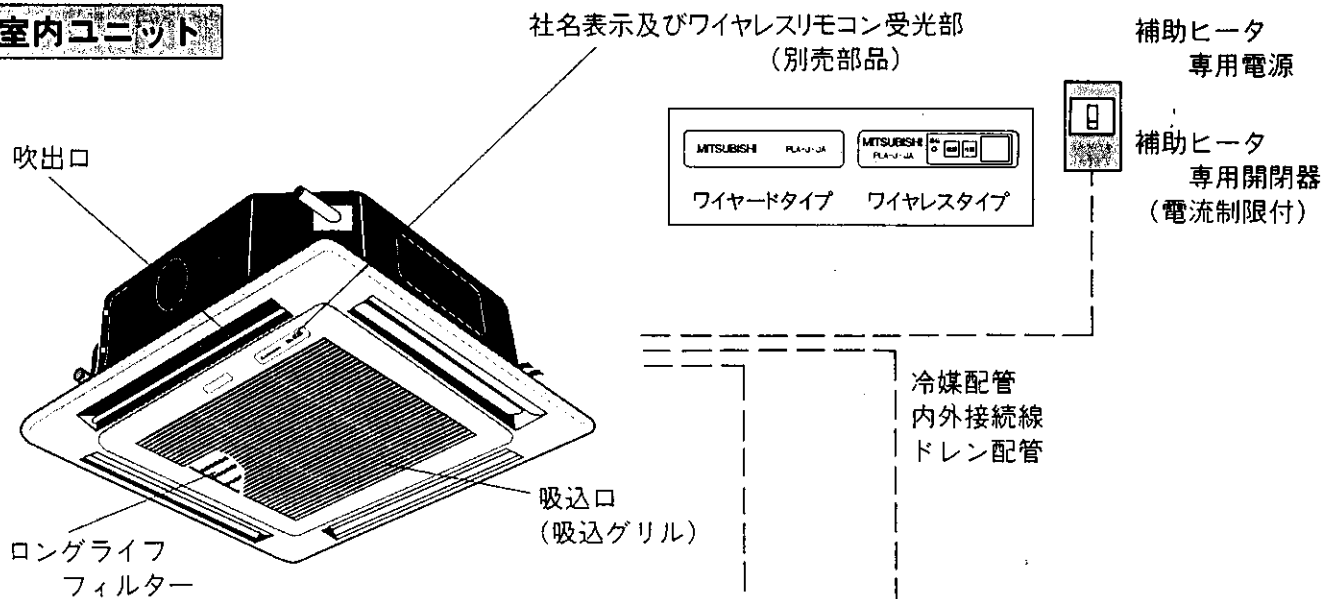
- 万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行なってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

■ 次の場所への据付けは避けてください。

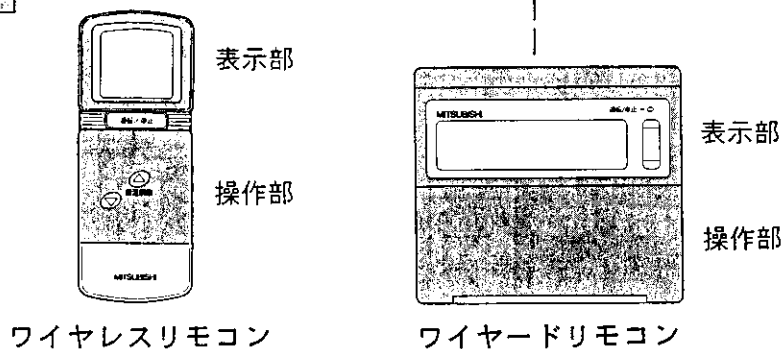
- 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスの多い所
- 海浜地区など塩分の多い所
- 積雪により室外ユニットが塞がれる所
- 本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

各部のなまえ

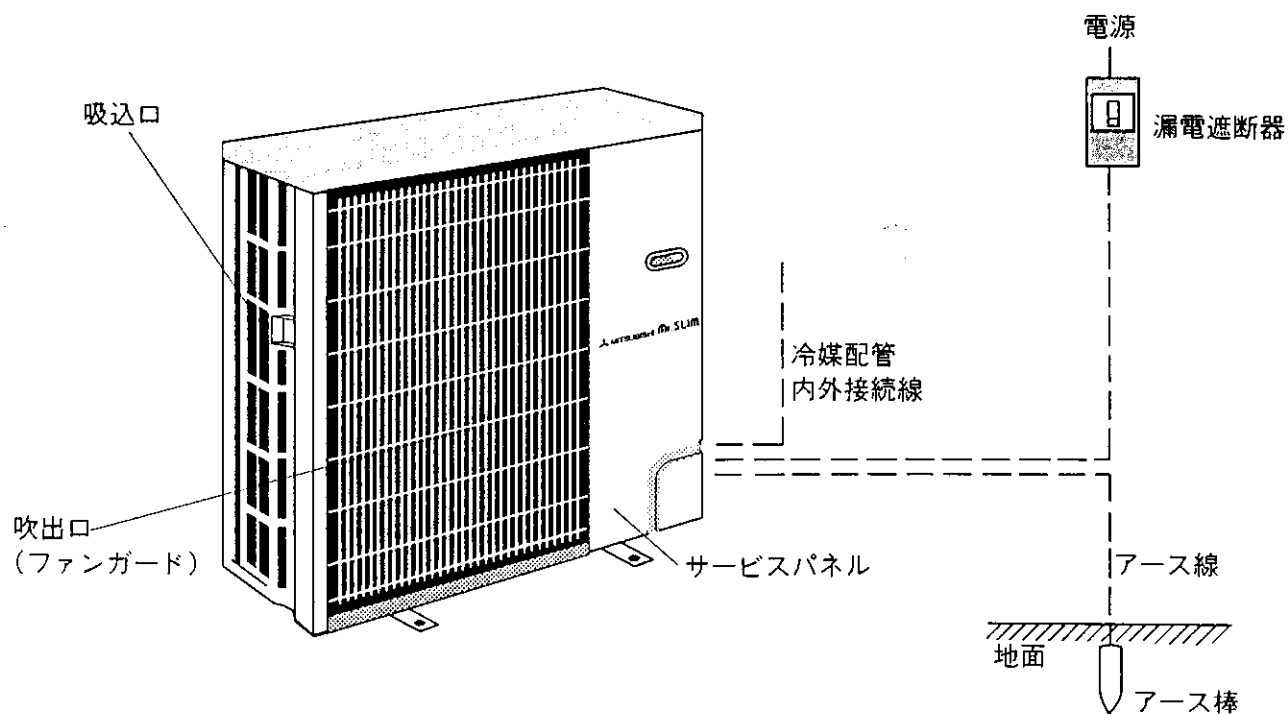
室内ユニット



リモコン



室外ユニット



ワイヤードリモコン (別売部品)

ワイヤードリモコン

時刻内容
現在時刻
開始時刻
終了時刻
時刻 (24時間方式で1分単位で表示)
エラーNo.

運転管理表示部
集中管理中
連続/タイマー
点検
設定温度 (温度を1℃単位で表示)

運転モード表示部
ドライ 冷房
自動 送風
暖房
(換気)

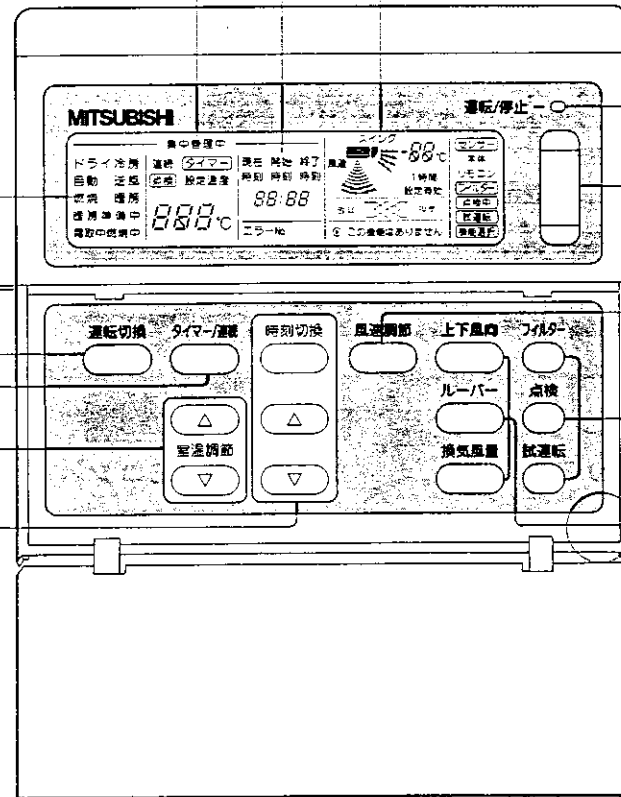
運転切換

タイマー/連続 (連続/タイマー運転切換)
室温調節
△ (上げる)
▽ (下げる)

時刻切換
現在・開始・終了
時刻設定
△ (進める)
▽ (戻す)

- 下図に示すイラストは、全ての表示を示していますが、説明のため、通常とは異なります。
- 通常は、停止中は電源“入”表示 (●)、運転中は運転ランプ電源“入”表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。

表示部



操作部

(フタ)

フタ開閉用ツマミ部

風速・風向表示部
上下風向
スイング
風速

室温 (1℃単位で表示)

1時間
設定有効

換気連動運転表示部

強弱

換気風量 強 弱

電源 “入” “●” 表示

機能 “なし”

“この機能はありません” 点滅

センサー位置表示部

本体/リモコン
いずれかが表示

フィルター

点検中

試運転

運転ランプ 運転中点灯

運転/停止

風速調節

フィルター (フィルターリセット)

点検

試運転

上下風向

ルーバー (左右風向切換)

換気風量 (強弱切換)

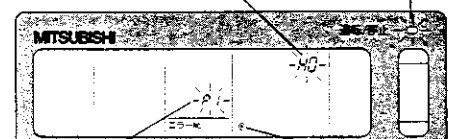
室温センサー内蔵位置

ワイヤードリモコン情報

- 電源を入れたとき、リモコン表示部に通電“入”表示 (●) とH0点滅と運転ランプ点滅が表示されます。約2分間 (H0点滅が消えるまで) お待ちください。停電が復帰したときにも動作 (H0点滅) します。
- 運転ランプやエラーNo.が点滅しているときは点検が必要です。エラーNo.をメモして主電源を切り、お買上げの販売店へご連絡ください。
- エラーNo.には次の種類があります。

No.	異常区分	エラーNo. (異常現象分類記号)
1	室内ユニット側の異常	P1~P8
2	室外ユニット側の異常	U1~U9, UA~UL, F1~F9
3	リモコン、室内・室外ユニット間通信異常	E0~E9, EA~EF
4	その他 (制御系統)	A0~A8

初期自動点検中表示 運転ランプ



通電“入”表示
エラーNo.と室内ユニットNo.表示が交互に点滅

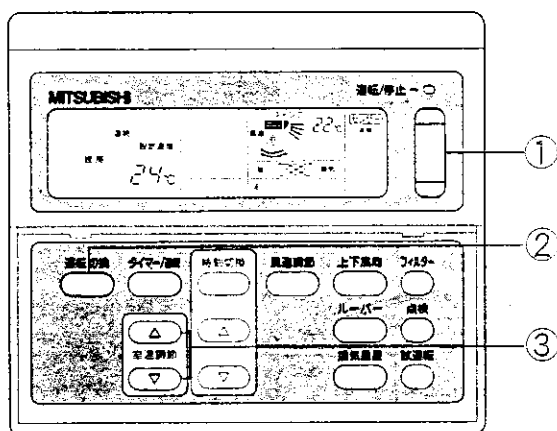
ワイヤレス
リモコン



-

運転/停止, 運転モード切換, 室温調節

運転/停止、運転モード切換、室温調節



■ 運転/停止 ボタンを押す前に：

電源が入っていますか
エアコン使用期間中は電源を切らないでください。
外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上お待ちください。

1 運転・停止をするとき

① 運転/停止 ボタンを押す。

運転ランプ	点灯	消灯
リモコン表示	表示	ワイヤードリモコン → ◎のみ表示 ワイヤレスリモコン → 表示なし
設定	運転	停止

2 運転モードを切換えるとき

② 運転切換 ボタンを押す。

- 運転切換 ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切替わります。

ワイヤードリモコン	表示	冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房 → 換気					
	冷暖兼用タイプ	冷房	ドライ	送風	自動	暖房	換気 ※1
	冷房専用タイプ	冷房	ドライ	送風			換気 ※1
ワイヤレスリモコン	表示	冷房 → ドライ → 自動 → 送風 → 暖房					
	冷暖兼用タイプ	冷房	ドライ	自動	送風	暖房	
	冷房専用タイプ	冷房	ドライ	冷房 ※2	送風	送風 ※2	

- ※1 換気装置が連動されていない場合は、表示されないし、設定もできません。
 ・換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。
 ・ワイヤレスリモコンの場合は、換気装置単独運転モードとすることはできません。
- ※2 表示と運転モードとが異なります。

3 設定温度を変えたいとき

■ 室温を下げたいとき

③ ▼ 室温調節ボタンを押す。

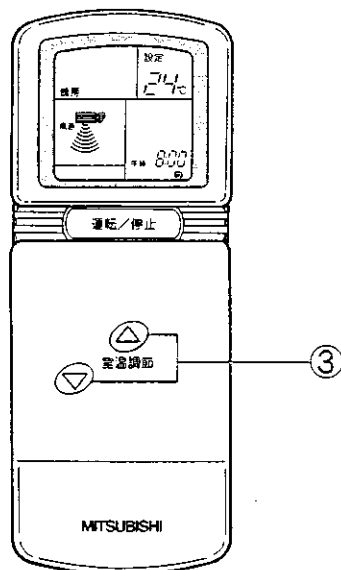
- 1回押すごとに設定温度が1℃下がります。

■ 室温を上げたいとき

③ ▲ 室温調節ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定温度が1℃上がります。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	19～30℃
暖房運転	17～28℃
自動運転	19～28℃
送風・換気	——（設定できません）



ミスタースリム Dr. 情報

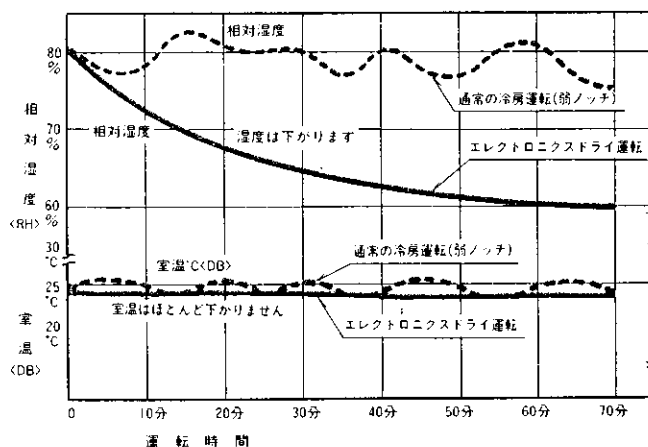
もうちょっと
詳しく知りたい

■ドライ運転とは

- ミスタースリムではマイコン制御により、好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転・エレクトロニクスドライ運転（ドライ運転）を行ないます。
- ドライ運転では冷やし過ぎを抑え効率的な除湿を行なうため、送風は静粛ノッチ、設定温度になって10分間停止が続くと湿度を低く保つため3分間の制御運転となります。
- 室温18℃以下では、エレクトロニクスドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行なわれ、リモコンでは設定できません。

●除湿効果例：

〔設定温度24℃、運転開始時温度24℃、湿度80%〕



(1)冷房負荷が小さいため、通常のエアコンでは冷房（弱ノッチ）、ON・OFF運転（5分ON／5分OFF）を繰り返し、除湿効果はほとんど得られない。

(2)エレクトロニクスドライ運転では短時間で除湿効果を発揮します。

■暖房運転について

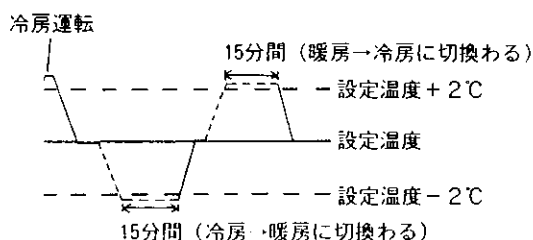
- 暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気温度上昇に合わせて、停止から設定風速へと徐々に切り替わります。（ホットスタートといえます）
- 風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、圧縮機が停止しているときは微風となります。
- “霜取中”“暖房準備中”が表示されているときは霜取運転、霜取後冷風を出さないよう室内ファンを停止させます。停止している期間をそれぞれ“霜取中”“暖房準備中”と表示し、お知らせします。ワイヤレスリモコンでは受光部付近の表示灯の点灯でお知らせします。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間電気ヒータ等の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。このときの風速は静粛ノッチです。

■送風運転

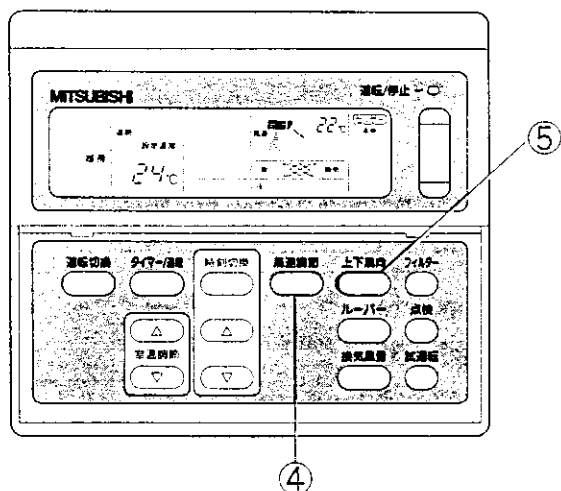
- 送風運転はお部屋の空気を循環させる働きをします。冷房・暖房あるいはドライ運転などでエアコンを使用しない時期に換気装置と連動運転を行なうと、より効果的な換気ができます。

■自動運転とは

- 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
- 自動で運転している間に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切り替わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切り替わります。



風速調節, 風向調節



4 風速を変えたいとき

④ 風速調節 ボタンを押す。

- **風速調節** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切り替わります。

表 示				
設 定 (風速ノッチ)	静粛	弱	中	強

5 風向を変えたいとき

- 運転中にオートベーンを手で絶対に動かさないでください。露たれ・ベーンの故障の原因となります。

⑤ 上下風向 (ワイヤレスリモコンでは風向) ボタンを押す。

- **上下風向** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切り替わります。

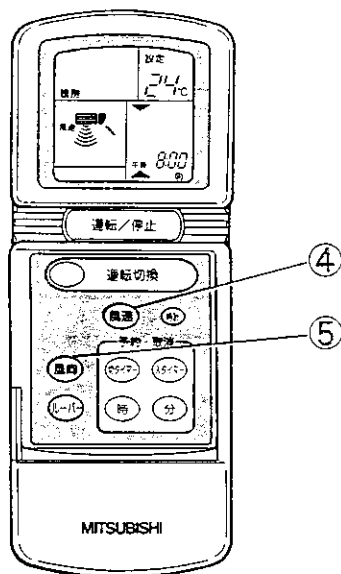


表 示						
運転モード	風速ノッチ					
暖房 送風	全ノッチ (強・中・弱・静粛)	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
冷房	強・中ノッチ					
	弱・静粛ノッチ	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し ※ 55° 1時間設定 有効の表示	下吹出し ※ 70° 1時間設定 有効の表示
ドライ	—					
運転モード変更時	—	冷房・ドライ 送風・換気 運転	—	—	—	暖房運転

※ 1時間設定有効の表示は、ワイヤレスリモコンでは表示されませんが、機能します。

ミスタースリム Dr. 情報

もうちょっと
詳しく知りたい

■ ミスタースリムの使用温度範囲





■ 換気連動運転とは

- エアコンの運転を開始すると自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮外気とを混合させて、より効果的な換気を行なうものです。
- エアコンを使用しない時期には換気装置単独でも運転ができます。(換気運転)
- 換気風量の強/弱切替えもエアコンのリモコン(ワイヤードタイプのみ)で行なうことができます。リモコンの **換気風量** ボタンを1回押すごとに“強” ↔ “弱”と表示、設定が切りかわります。
- **換気風量** ボタンを押した時“この機能はありません”の表示が点滅する場合、及び運転モードで“換気”が表示されない場合は、換気装置が連動されていない場合です。

		室 内	室 外
冷房・ドライ	乾球温度	19~32℃	-5~43℃
	湿球温度	15~23℃	-
暖房	乾球温度	17~28℃	-11~21℃
	湿球温度	-	-12~15℃
送風・換気	乾球温度	-	-

■ 風速について：選べる快適性

- 室内ファンの風速・4段階(ノッチ)を実現しました。

表 示				
設 定 (ノッチ)	静粛	弱	中	強

■ 風向について：

- 快適な室内温度にするためオートベーンをスイングさせ、水平吹出しから下吹出し70°の間を連続して往復運転を繰り返す機構付きです。
- 暖房運転では、前回スイングで運転していた時は、再運転(**運転/停止** ボタンを押すだけ)でもスイングでスタートとなっています。冷房・ドライ運転では、再運転時、水平吹出しでスタートとなります。
- 冷房運転で風速を静粛・弱ノッチ及びドライ運転の時、下吹出し55°、70°に設定しますと“1時間設定有効”が表示されます。これはオートベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しご使用の場合などでこのような現象が発生した場合は、水平吹出しに戻してください。この時“1時間設定有効”の表示は水平吹出しへ戻しても約1分間表示を続けてから消えます。

リモコン情報

- お好み運転で操作ボタンを押したとき“この機能はありません”と点滅表示が出ることがあります。操作ボタンで押した機能が室内ユニットに装備されていないことを示しています。
- 1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転しているシステム(組合せいろいろ(1ページ)をご覧ください)の場合の“この機能はありません”表示は室内ユニットのすべてに装備されていないときに限り表示されます。1台の室内ユニットでも機能を装備したものがあれば表示されません。機能を装備する室内ユニットに対してのみこの機能が設定されます。

ワイヤードリモコン情報

- 再運転時は下記運転モードとなります。

再運転時モード			
運転モード	前回運転モード		
温度設定	前回設定温度		
風速	前回設定風速		
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回設定
		送風・換気	水平吹出し

ワイヤレスリモコン情報

- リモコンの電池を組込み(リセットボタンを必ず押してください)の場合は初期設定、2回目以降は再運転時モードとなります。

初期設定		再運転時モード		
運転モード	送風	前回運転モード		
温度設定	—	前回設定温度		
風速	強	前回設定風速		
風向	水平吹出し	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
			暖房	下吹出し
			送風	水平吹出し

タイマー運転 (ワイヤードリモコンの場合)

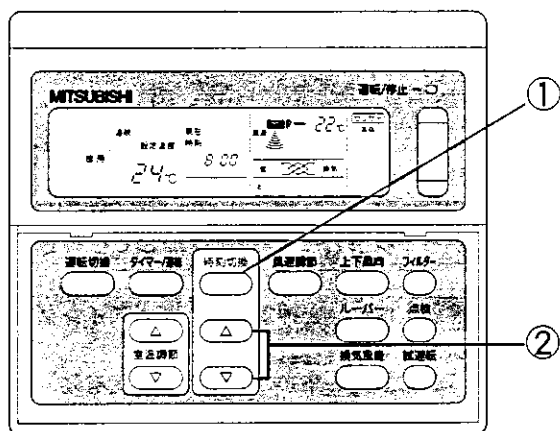
■ タイマー運転には次の3つの方法があります。

1. 運転・停止の両方をタイマーで行なう **入・切タイマー運転**
2. 運転の開始をタイマーで行ない、停止は **運転/停止** ボタンで行なう **入タイマー運転**
3. 運転の開始は **運転/停止** ボタンで行ない、停止をタイマーで行なう **切タイマー運転**

■ タイマー運転の設定は、24時間以内に開始・終了共に1回以内です。

- 10分単位に時刻設定ができます。

- **タイマー** の表示がされているとき (タイマー運転) は時刻設定・変更はできません。
その時は **タイマー/連続** ボタンを1回押してリモコンの表示を **連続** にしてください。
(タイマー運転の解除)



1 現在時刻の設定を行なう

- ① **時刻切換** ボタンを押し、“現在時刻”を表示。

- **時刻切換** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示が切り替わります。

リモコンの表示	現在時刻 → 開始時刻 → 終了時刻 → 表示なし
---------	---------------------------

- ② **△** ボタンを1回押すごとに1分進み、
▽ ボタンを1回押すごとに1分戻ります。
● ボタンを押し続けると早送り (早戻し) となります。
● 時刻は 1分単位 → 10分単位 → 時間単位の順に変化します。
● ボタン操作終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

2 開始時刻の設定を行なう

- ① **時刻切換** ボタンを押し“開始時刻”を表示させる。
- ② **△** または **▽** ボタンを押して運転を開始したい時刻に合せる。

3 終了時刻の設定を行なう

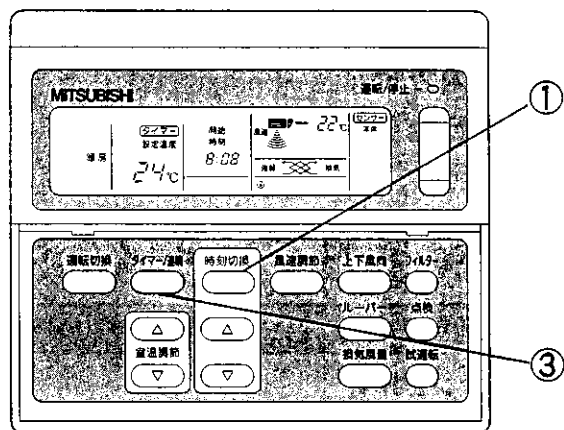
- ① **時刻切換** ボタンを押し“終了時刻”を表示させる。
- ② **△** または **▽** ボタンを押して停止したい時刻に合せる。

4 時刻の変更をしたいとき

- ① **時刻切換** ボタンを押して変更したい時刻 (現在・開始・終了) を表示させる。
- ② **△** または **▽** ボタンを押して希望する時刻に合せる。

- 入タイマー運転・切タイマー運転のように一方だけの場合には他方の時刻を **--:--** とする。
この表示は23:50の次に表示されます。

5 入・切タイマー運転を行なうとき



- ① **時刻切換** ボタンを押して“現在時刻”が正しいこと、運転開始時刻、運転終了時刻が希望の時刻と同じことを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ（13ページ）をご覧ください。
- 約10秒で時刻の表示は消えます。

- ③ **タイマー/連続** ボタンを押し、リモコンに **タイマー** の表示をする。

- **タイマー/連続** ボタンを1回押すごとにリモコンの表示と共に設定が切り替わります。

リモコン表示	連 続	→	タイマー
設 定	—		タイマー運転

6 入タイマー運転を行なうとき

- ① **時刻切換** ボタンを押して“現在時刻”の正しいこと、運転開始時刻が希望の時刻と同じで、運転終了時刻が **--:--** の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ（13ページ）をご覧ください。

- ③ **タイマー/連続** ボタンを1回押し、リモコンに **タイマー** の表示をする。

タイマー設定表示例

タイマー	開始時刻 8:00
↓	
タイマー	終了時刻 17:00

例は8時になると運転を開始し17時になると運転を停止するタイマー設定を示します。

7 切タイマー運転を行なうとき

- ① **時刻切換** ボタンを押して“現在時刻”の正しいこと、運転終了時刻が希望の時刻と同じで、運転開始時刻が **--:--** の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ（13ページ）をご覧ください。

- ③ **タイマー/連続** ボタンを押し、リモコンに **タイマー** の表示とする。

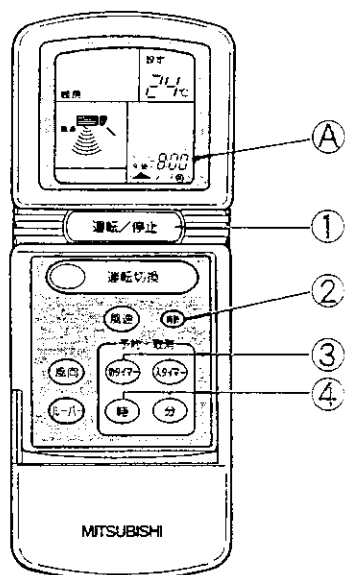
タイマー運転 (ワイヤレスリモコンの場合)

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

- ①運転・停止の両方をタイマーで行なう **入・切タイマー運転**
- ②運転の開始のみをタイマーで行なう **入タイマー運転**
- ③停止のみをタイマーで行なう **切タイマー運転**

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入り・切り各1回以内です。

■リモコンへの時刻設定は、室内ユニットの受光部に向けて行なう必要はありません。



電池を入れて初めて現在時刻を設定する時は、手順3から操作してください。

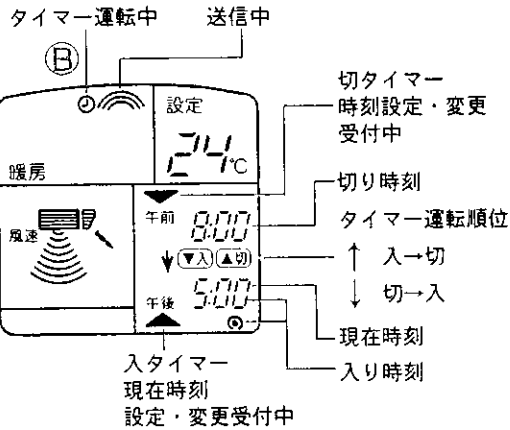
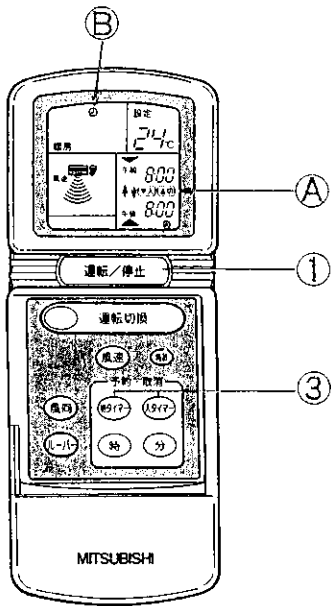
1 時刻の設定・変更を行なうとき

手順	現在時刻の設定・変更	入り時刻の設定・変更	切り時刻の設定・変更
1	① 運転/停止 ボタンを押す ●リモコンに表示の出ている状態とする。		
2	② 時計 ボタンを押す ●A部に▲が表示。	③ 入タイマー ボタンを押す ●A部に▲・▼入が表示。	③ 切タイマー ボタンを押す ●A部に▼・▲切が表示。
3	④ 時 分 ボタンを押して時刻を合わせる ● 時 ボタンを1回押すごとに1時間進みます。 ● 分 ボタンを1回押すごとに1分進みます。 ※現在時刻に合わせる。		
	※入り希望時刻に合わせる。	※切り希望時刻に合わせる。	
4	② 時計 ボタンを押す		
表示・設定	●A部の▲表示は約1分間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。 ●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順2へ戻ってください。		
	●A部の▲表示は約10秒間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。 ●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順2へ戻ってください。		

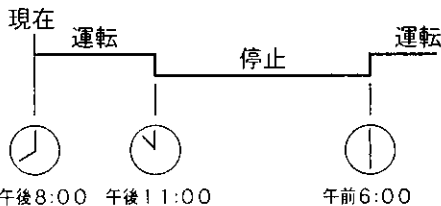
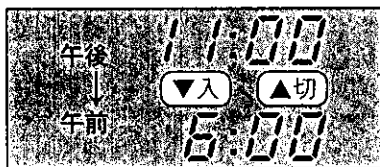
●入タイマー、切タイマーの時刻設定は、現在時刻が設定されていないとできません。現在時刻を設定後に入タイマー・切タイマーの時刻設定をしてください。

2 タイマー運転の設定・取消を行ないたいとき

- リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行なってください。



例) 現在時刻、午後8:00の場合
午後11:00に停止し翌日の
午前6:00に運転を始める。



ご注意

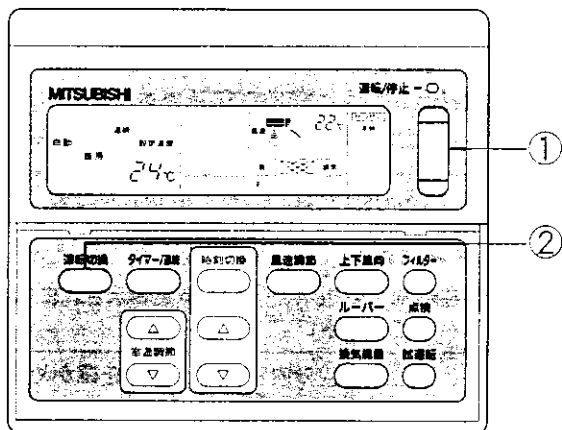
- ◎タイマー予約時、ワイヤレスリモコンの「運転/停止」ボタンを押して停止すると、タイマーは解除されます。
- ◎タイマー運転が終了して空調機が運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転モードに戻り、連続運転となります。

手順	入・切タイマー運転	入タイマー運転	切タイマー運転
1	① 「運転/停止」 ボタンを押す ●リモコンの④部に“現在時刻”の表示と◎印が点滅表示されます。時刻の正しいことを確かめてください。		
2	●運転モード、設定温度、風速が希望の内容であることを確かめてください。		
3	③ 「切タイマー」 ボタンを押す ●タイマー時刻の設定は15ページを参照ください。 ●リモコンの④部に▼・▲切“切り時刻”が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの⑤部に⌚が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。	—	③ 「切タイマー」 ボタンを押す ●リモコンの④部に▼・▲切“切り時刻”が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの⑤部に⌚が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。
4	③ 「入タイマー」 ボタンを押す ●リモコンの④部に▲・▼入“入り時刻”が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの⑤部に⌚が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。 ●リモコンの④部の表示で↑↓は↑又は↓のいずれか一方が表示されます。 ↑が表示の場合は入→切 ↓が表示の場合は切→入 の順で動作することを示します。	③ 「入タイマー」 ボタンを押す ●リモコンの④部に▲・▼入“入り時刻”が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの⑤部に⌚が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。 ●エアコンの運転は自動的に停止され、“入り時刻”まで待ちます。	—
表示	●リモコンの④⑤部の表示をそのままにしておいてください。(他の人にタイマー運転中であることを知らせるためです)		
取消	●タイマー運転を取消す場合は、手順の3、4を行なってください。表示が消え、設定が取消されたことを示します。		

自動運転・換気連動運転

1 自動運転を行なうとき

- 室温と設定温度との温度差に合わせて、自動的に冷房／暖房が切り替わります。
(ミスタースリムDr. 情報・10ページ)



① **運転/停止** ボタンを押し、運転状態にする。

② **運転切換** ボタンを押し、**自動** モードにする。

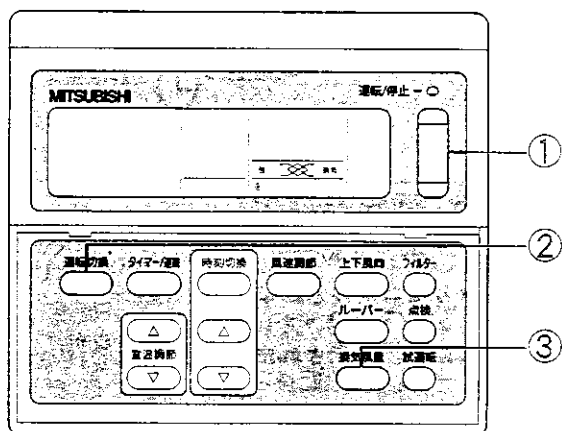
- **自動** の表示が出るまで **運転切換** ボタンを押す。

冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房 → 換気

運転切換 ボタンを1回押すごとにリモコンの運転モードが切り替わります。

2 換気単独運転を行なうとき

- ワイヤードリモコンの場合に限り可能です。ワイヤレスリモコンでは連動運転はできませんが、単独運転はできません。
- 換気装置が連動接続されていない場合、**換気風量** ボタンを押した時“この機能はありません”の表示が点滅します。
- 冷房運転・暖房運転などの必要がなく、換気装置のみ運転を行ないたい場合に行ないます。



① **運転/停止** ボタンを押し、運転状態にする。

② **運転切換** ボタンを押し、**換気** モードにする。

3 換気風量を変えたいとき

③ **換気風量** ボタンを押す。

- **換気風量** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示と連動する換気装置の風量の設定が切り替わります。

リモコンの表示	弱 換気 (換気弱の場合)	強 換気 (換気強の場合)
換気風量の設定	弱	強

- エアコンと連動運転する場合は、エアコンの運転モードをお好みのモードにして、**換気風量** ボタンを押すことにより強／弱のいずれかに設定することができます。



ミスタースリム知恵袋

上手な使い方

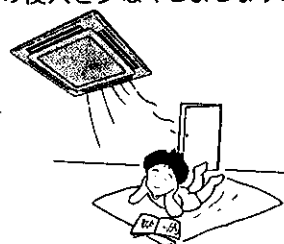
- “ミスタースリム” を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

■ 室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

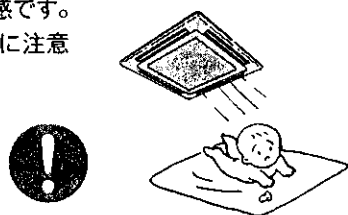
■ 冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けない。開放のままにしないようにしましょう。



■ 長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風向に注意しましょう。



■ フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
- ロングライフフィルターは通常的环境下では約2,500時間清掃不要です。シーズンの始めと終わりに清掃してください。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（詳しくはお手入れのしかた20ページをご覧ください。）

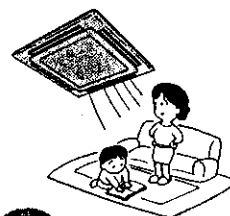


■ 中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係がありますが、人間にとって快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- このムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎたりで中途半端と感ずることがあります。エレクトロニクスドライ（ドライ）運転をご利用ください。

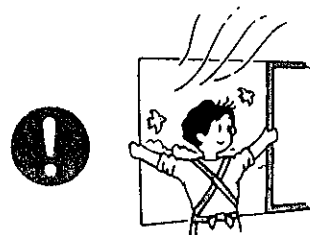
■ 室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房しているとき、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房しているのに足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。暖かい風が床に届くように下吹出しなどにして風向を調節してください。



■ ときどき換気を

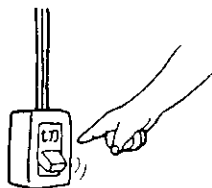
- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転では、室温の設定はできませんが、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇と連動運転しますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



お手入れのしかた

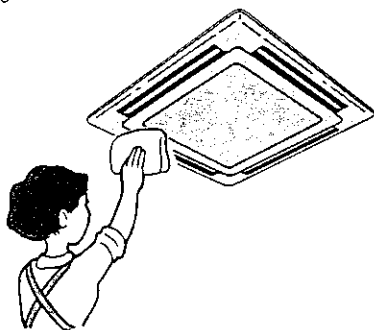
お手入れのまえに

- 必ず、電源を「切」にしてください。

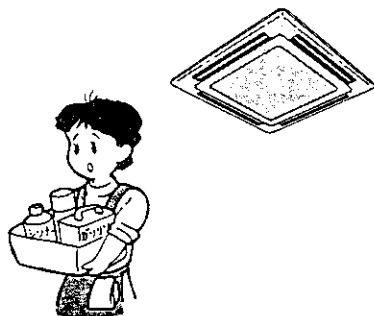


室内ユニットの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向バーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。



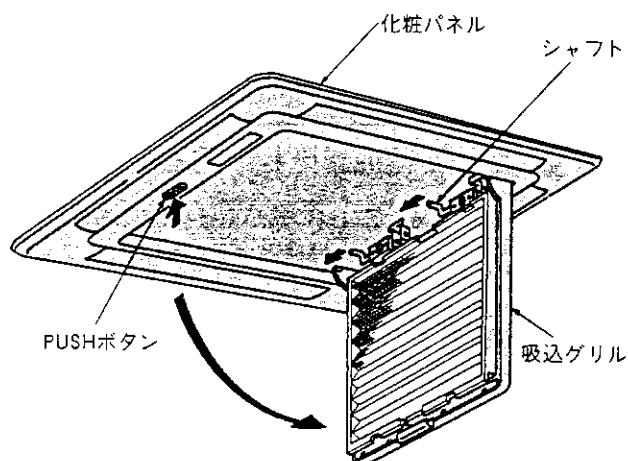
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用してください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



吸込グリルの清掃

1 吸込グリルを取外す。

- ①吸込グリル外側の **PUSH** ボタンを押すと、吸込グリルが自動的に開きます。
- ②吸込グリルのヒンジ部のシャフトを横へスライドすれば、化粧パネルから吸込グリルが取外せます。



△注意

吸込グリルを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なうときは、転倒しないように注意してください。

2 吸込グリルを水洗いする。

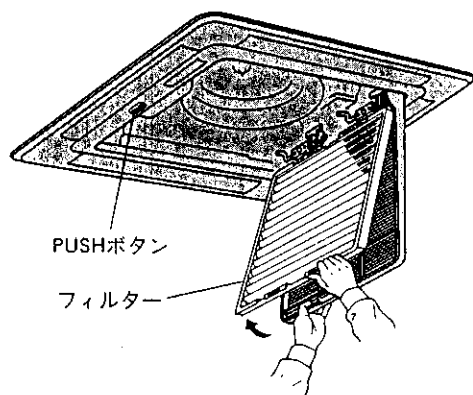
- やわらかい布で軽く拭くように洗ってください。水洗いのあとは、やわらかい布で水分を拭きとって陰干ししてください。
- 家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使うときは、洗剤が残らないよう、よく水洗してください。
- タワシやスポンジの硬い面などで洗うと傷つくので使わないでください。
- 長時間（2時間以上）温水や水につけておかないでください。直射日光や直接火などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。

3 吸込グリルを元の状態に（取外しの逆の手順）取付ける。

「ロングライフフィルターの清掃」

1 フィルターを取外す。

- 吸込グリルを開いてください。(19ページ参照)
- 吸込グリルに取付けられたフィルターを手前に引くとフィルターが外れます。

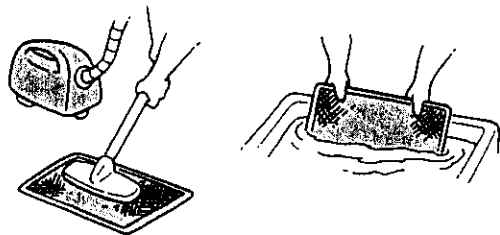


△注意

ロングライフフィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なう時は、転倒しないように注意してください。

2 ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。



3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

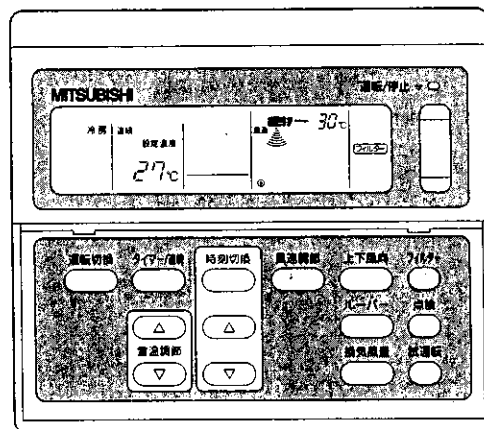
- ロングライフフィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさなでください。

4 フィルターを元の状態に（取外しの逆の手順）取付ける。

「フィルター清掃時期がくると」

リモコンに“フィルター”（フィルタークリーニングサイン）表示を点滅させてお知らせします。

※一般事務所などでロングライフフィルターの清掃時期は、運転積算時間で約2500時間です。



「フィルター」表示をリセットする

1 フィルター清掃後 **フィルター** ボタンを2度押す。

- **フィルター** ボタンを2度続けて押すと、リモコンの“フィルター”表示が消えリセットされます。

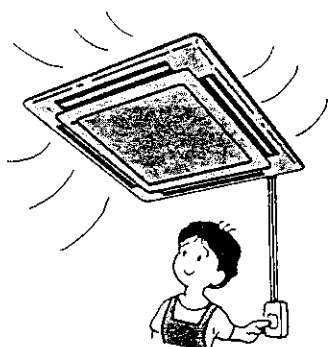
■複数台の異形態の室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（ロングライフフィルター：約2500時間、一般フィルター：約100時間）。清掃時期は短い時間により“フィルター”表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。

■“フィルター”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

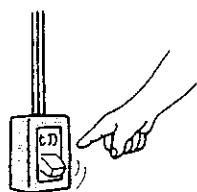
長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

- 1 4～5時間、送風運転して
エアコン内部を乾燥させる。



- 2 エアコンの電源を切る。



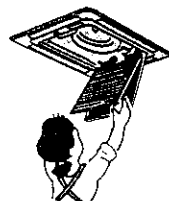
- 3 <ワイヤレスリモコン使用の場合>
リモコンから乾電池を取出す。

長期間ご使用に
ならないとき

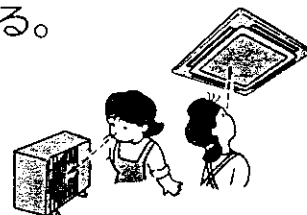
再度使い始めるとき

■下記作業1～4の点検を行ない、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

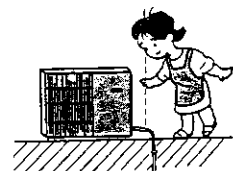
- 1 ロングライフフィルターを掃除
して、取付ける。



- 2 室内・室外ユニットの吹出口・
吸込口が塞がれていないことを
確認する。



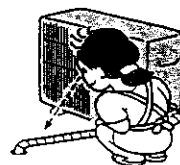
- 3 アース線が外れていないことを
確認する。室内ユニットにも取
付けてある場合があります。



△注意




アース線はガス管・水道管・避雷計・電
話アース線に接続しない。アース工事に
不備があると、感電の原因になることが
あります。アース工事を行なう場合は販
売店にご相談ください。

- 4 ドレンホースの折れ曲がり、
先端の持ち上がり、詰まりなど
のないことを確認する。



- 5 運転開始の12時間以上前から
必ずエアコンの電源を「入」に
する。

もう一度お確かめください

おかしいな Q 変だな？ 故障かな	 A お願いします	  説明します
動かない！ ①リモコンの運転表示が点灯しない。	①電源開閉器を入れてください。 リモコンの表示部に、電源の“●”が点灯します。	①電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示“●”が点灯しません。
②リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	②“集中管理中”を解除してください。 表示が出ていませんか？ お確かめください。	②“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
③再運転のために、停止後すぐに運転・停止ボタンを押した。	③再運転をした場合は、約3分間お待ちください。	③マイコンの指示でエアコンを保護しています。
④リモコンの表示部にエラーコードが、点灯している。	④リモコンの表示部にエラーコードが表示されていませんか？ お確かめください。	④“自己診断機能”が作動してエアコンを保護しています。 サービスを申し付けください。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	①リモコンで入りタイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を開始します。
	②遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ連絡・確認ください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を開始します。
	③集中管理室で運転を操作した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	③リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
	④停電していて電源が復帰した。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	④運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する電源発停の機能に設定されていた。 *電源発停の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して運転を再開ください。	①リモコンで切りタイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を停止します。
	②遠方コントロールで停止を指示した。 停止を指示したところへ確認・連絡ください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を停止します。
	③集中管理室で運転を操作した。 停止を指示したところへ確認・連絡ください。	③リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転が停止します。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	そのままお使いください。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が出る場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気ができる。	そのままお使いください。	①冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ②暖房時には熱交換器についた水が滴下するためです。 *これらの水をまとめて別に排水する場合、別売部品“ドレンソケット／集中排水ドレンパン”をご利用ください。

もう一度
お確かめ
ください

おかしいな Q 変だな？ 故障かな	A お答えします	! 説明します
よく冷えない。 よく暖まらない。	①温度調節を確認して、設定温度を調節してください。	①設定温度が適切でない。
	②フィルターの清掃をしてください。	②フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下したため。
	③室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。	③室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている。
暖房運転ですぐに風が吹出されてこない。	そのままお待ちください。	充分な暖かな風をお届けするために準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	そのまま約10分程お待ちください。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
水の流れるような音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒が流れる音です。
時々“プシュッ”と音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
風向が途中で変わる。	そのままお使いください。 必要に応じて再セットください。	①冷房運転中、下吹出しで使用しますとマイコンが自動的に1時間後に水平吹出しに切換えます。 これは水滴が滴下するのを防ぐためです。 ②暖房運転中は、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	スケジュールタイマーで行なってください。	スケジュールタイマーが接続されていませんか？この場合はスケジュールタイマーでセットとなります。
リモコンに“HO”の表示がでる。	そのままお待ちください。	初期自動点検（約2分）を行なっているためです。
リモコンに故障記号が表示される。 *故障記号：7ページ参照	エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。 *自分では絶対に修理しないでください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。	乾電池が消耗しています。 *新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認ください。
ワイヤレスリモコンの受光部の運転表示灯が点滅する。	エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。

おも
うか
め度
くだ
さい

保証とアフターサービス

■ 保証書

- ・室内ユニットに保証書を添付しております。
- ・保証書は必ず「お買上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- ・内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間 お買上げ日から1年間です。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

- ・パッケージエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、通商産業省の指導により製造打ち切り後9年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機お客様相談窓口」(別添)にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

「もう一度お確かめください」(23・24ページ)をよくご覧になってお調べください。
なお不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

◎修理料金の仕組み

修理料金は、技術料+部品代(+出張料)で構成されています。

■ ご連絡いただきたい内容

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. 品名 | 室内ユニット・室外ユニット共に！ |
| 2. 形名・製品番号 | 保証書に記入してあります。 |
| 3. お買上げ日 | 〇〇年〇月〇日 |
| 4. 故障の状況 | できるだけ詳しく。
(リモコンの異常表示記号など) |
| 5. ご住所 | 付近の目印なども |
| 6. お名前・電話番号 | |

移設・工事・点検について

■ 移設について

- ①増改築・引越しのためエアコンを取り外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒(R-22)以外のものを混入させないでください。

■ 設置場所について

- ①設置・移設をする場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②可燃性ガスの洩れる恐れがあるところは避けてください。
- ③・機械油の多いところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・湿気の多い場所
・温泉地帯
・硫化ガスのあるところ
・高周波加工機(高周波ウェルダ等)のあるところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用は避けてください。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④室内ユニットは必ず水平に据付けてください。
水たれなどの原因となります。

■ 保守点検契約のおすすめ

- ・エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなる場合があります。通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をお勧めします。

■ 電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源は、エアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくは、お買上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■ 騒音にもご配慮を

- ①据付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷風風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- ⑤病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なって施工してください。

仕様表

本表は1対1の組合せのみを記載しております。マルチの組合せでの仕様についてはカタログ等を参照してください。

ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

50/60Hz

冷暖房形 セパ形名	ヒータレス	PLH-J40SJAG	PLH-J40JAG	PLH-J45SJAG	PLH-J45JAG	PLH-J50SJAG	PLH-J50JAG	PLH-J56SJAG	PLH-J56JAG
	ヒータ付	PLH-J40SJAHG	PLH-J40JAHG	PLH-J45SJAHG	PLH-J45JAHG	PLH-J50SJAHG	PLH-J50JAHG	PLH-J56SJAHG	PLH-J56JAHG
	冷房専用形	PL-J40SJAG	PL-J40JAG	PL-J45SJAG	PL-J45JAG	PL-J50SJAG	PL-J50JAG	PL-J56SJAG	PL-J56JAG
性能 (冷房形は 暖房しま せん。)	冷房能力 KW	3.6/4.0		4.0/4.5		4.5/5.0		5.0/5.6	
	暖房能力 KW	4.0/4.5 (5.4/5.9)		4.2/4.8 (5.6/6.2)		5.0/5.6 (6.4/7.0)		5.6/6.3 (7.0/7.7)	
	暖房低温能力 KW	3.0/3.4 (4.4/4.8)		3.2/3.6 (4.6/5.0)		3.8/4.2 (5.2/5.6)		4.2/4.8 (5.6/6.2)	
室内ユニット形名 (冷暖房・冷房専用形共通)		PLA-J40(S)JA(H)	PLA-J40JA(H)	PLA-J45(S)JA(H)	PLA-J45JA(H)	PLA-J50(S)JA(H)	PLA-J50JA(H)	PLA-J56(S)JA(H)	PLA-J56JA(H)
室内 ユニ ット	電 源	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V
	騒音:強-中-弱-静粛 dB(A)	35-34-32.5-31				37-35.5-34-32			
	風量:強-中-弱-静粛 m³/min	15-14.5-14-13				16-15-14-13			
	補助ヒータ KW	(1.4)							
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	253×660×660							
	質 量 kg	19 (20)+3.7							
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J40SGA	PUH-J40GA	PUH-J45SGA	PUH-J45GA	PUH-J50SGA	PUH-J50GA	PUH-J56SGA	PUH-J56GA
冷房形室外ユニット形名		PU-J40SGA	PU-J40GA	PU-J45SGA	PU-J45GA	PU-J50SGA	PU-J50GA	PU-J56SGA	PU-J56GA
室外 ユニ ット	電 源	単相 200V	3 相 200 V	単相 200V	3 相 200 V	単相 200V	3 相 200 V	単相 200V	3 相 200 V
	騒 音 dB(A)	43						44	
	風 量 m³/min	40						50	
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	650×900×〔330+20〕						855×900×〔330+20〕	
	質 量 kg	51 <50>				54 <53>		71 <70>	

冷暖房形 セパレート形	ヒータレス	PLH-J63JAG	PLH-J71JAG
	ヒータ付	PLH-J63JAHG	PLH-J71JAHG
	冷房専用形	PL-J63JAG	PL-J71JAG
性能 (冷房形は 暖房しま せん。)	冷房能力 KW	5.6/6.3	6.3/7.1
	暖房能力 KW	6.7/7.5 (8.8/9.6)	7.1/8.0 (9.2/10.1)
	暖房低温能力 KW	5.0/5.6 (7.1/7.7)	5.2/6.0 (7.3/8.1)
室内ユニット形名 (冷暖房・冷房専用形共通)		PLA-J63JA(H)	PLA-J71JA(H)
室内 ユニ ット	電 源	単相(3相) 200V	
	騒音:強-中-弱-静粛 dB(A)	39-38-36.5-35	39.5-38-36.5-35
	風量:強-中-弱-静粛 m³/min	17-16-15-14	
	補助ヒータ KW	(2.1)	
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	253×660×660	
	質 量 kg	20 (21)+3.7	
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J63GA	PUH-J71GA
冷房形室外ユニット形名		PU-J63GA	PU-J71GA
室外 ユニ ット	電 源	3 相 200 V	
	騒 音 dB(A)	44	
	風 量 m³/min	45	
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	855×900×〔330+20〕	
	質 量 kg	76 <75>	

※()内の数値は、ヒータ付の場合で組込みの補助ヒータの作動時を示します。冷房専用室内ユニットには補助ヒータはありません。

※/で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他は50Hz、60Hz共通です。

※電気特性は製品に貼付してあります製品名板に記入してあります。

※質量の < > 内の数値は冷房専用室外ユニットの重量を示します。

愛情点検



●長年ご使用のエアコンの点検を！

▶パッケージエアコン補修用性能部品の
最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際、
このようなことは
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご
使
用
中
止

故障や事故防止のため、電
源を切り、必ず販売店に点
検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買上げ店名

電話

お買上げ(据付)日

年

月

日



三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422 静岡市小鹿3-18-1 ☎(054)285-1111 (代表)

BG79Y067H01